

第1回 定例会

3月定例会は3月4日に招集され、14日までの11日間の会期で開催された。専決処分事項の報告1件、人事案件3件、事件案4件、条例案19件、予算案17件、報告2件の町側から提出された議案44件を原案どおり承認・同意・可決した。

質疑

Q 県派遣職員の受け入れ先と主な仕事の内容は。また、町にとってのメリットは。

A 今年度、課長職11名中5名が退職し、課長職が若返る。組織の強化を図るとともに、県との情報共有や太いパイプがつくれることとなり、将来の御代田町の行政運営に大きなメリットが生まれることとなる。

Q 役場庁舎整備経費18億3千万円の内容は。

A 解体工事は3月31日までの工期で終了する。4月からは造成工事を着工し、7月ぐらいをめどとしている。8月から特殊基礎工事を

着工しながら本体工事に入り、平成29年11月末を完成予定で進める。

Q 雪窓保育園の大規模改修工事、工事期間なども含めた内容は。

A 雪窓保育園は、平成5年の建てかえから23年が経過し、近年は、建物の長寿命化を図るため2年に1度、専門業者に建物診断を委託している。

平成26年度に実施した建物診断の結果、屋根と外壁の修繕が必要となり、平成28年度予算計上した。

工事の内容は、屋根・外壁・物置等の塗装及び痛みが激しい部分的な外壁部分のサイディングボードの張りか

えなど、外周り全体の改修を予定している。工事期間等は、来年3月までに完了するよう、休園せずに通常の保育業務に支障がないよう、足場をスライド式に組むなど、安全面にも十分に配慮しながら実施していく。

Q 豊昇ふるさと公園の管理内容は。また、今後の位置づけは。

A 平成24年、当初は区で管理する形で工事、整備を実施してきたが、同年10月2日付で、豊昇区から、町の観光施設として位置づけ、将来にわたって町が維持・管理する公園にしたいという陳情があり、平成27年11月10日付で、豊昇区に、町が維持・管理すると回答したので、平成28年度から実施していく。管理内容は、シルバー人

材センターに委託して、草刈り、生け垣の剪定、遊歩道への除草剤散布などを年3回実施していく。

今後の位置づけは、北側の湯川の護岸工事が完了し、上流部も新たに整備した中で、町の公園条例のその他公園、あるいは緑地公園としたい。



豊昇ふるさと公園

Q クリーンセンターの負担金の内訳は。

A 負担金の総額は7千929万6千円のうち、温浴施設の整備費に対する負担金が7千154万2千円で、ほとんどを占めている。

温浴施設の全体事業費が18億9千437万9千円で、3.78%を御代田町で負担する。

内訳は、来年度から土地造成等が始まり、負担分が402万3千円、実績割が90%、均等割10%で、来年度の整備費用全体の6.89%を負担する。

組合の運営費、事務費等

37万1千円で実績割100%となっている。運営費全体は4.87%の負担である。

人事案件

固定資産評価審査委員会委員

大井 秀夫

児玉在任

任期は前任者の残任期間の平成30年12月31日まで

御代田財産区管理委員会委員

櫻井 税

米町在任

任期は前任者の残任期間の平成29年3月31日まで

教育委員会委員

茂木 伸一

塩野在任

任期は平成28年4月1日から平成32年3月31日までの4年間

討論

「集団的自衛権」行使を具体化し、戦争につながる安全保障関連二法のすみやかな廃止を求める請願

賛成

野元 三夫 議員

不採択

反対

池田 るみ 議員

私は戦後という言葉が大好きです。戦後70年経ちました、10年20年後も祝いたいと思います。戦争を知らない国民が多数となっている国が、世界の中に幾つあるのでしょうか。

日本人が戦場で70年も人を殺したり殺されたりしていない事はすごい事です。戦後を続けませんか。

日本には9条が有り武力行使しない稀な国との認識が世界にはあるそうです。この認識を崩しかねない、安全保障関連二法はすみやかに廃止すべきと考えます。

自衛隊の武力行使は、自衛の措置の新3要件に該当した自国防衛にのみ許され専ら他国防衛を目的とした集団的自衛権の行使を出来ないとする政府の憲法9条の根幹は堅持され、専守防衛の憲法9条を変えるものではない。

平和安全法制は、日本を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中、日米防衛協力体制の実効性をより向上させ、隙間のない防衛体制を構築することで抑止力を高め、戦争を未然に防ぐ戦争防止法である。

国民の平和と安全を守るため、平和安全法制を廃止してはならないことから反対討論とする。

結果 「不採択」

採択 4人
不採択 8人
欠席 1人

米軍輸送機CV22(空軍)・MV22(海兵隊)西オスプレイの飛行訓練に反対し、飛行中止を求める意見書提出の請願

賛成

市村千恵子 議員

不採択

反対

井田 理恵 議員

垂直離着陸機オスプレイは、高い事故率を記録している。

県のオスプレイ訓練空域の環境レビューに対する意見や質問について、町としては、オスプレイの訓練が行われることになれば、住みやすく良好な環境が壊されてしまう、そういう危険性があることから、当町の上空でのオスプレイの訓練は認めることはできないという意見を述べたということである。

議会としても、町と歩調を合わせ、当町の上空でのオスプレイの訓練は認めることはできないとの思いを、示していただきたい。

日本を取り巻く安全保障環境は一層の厳しさを増している。在日米軍訓練の沖縄集

中への負担軽減への現状もある。東日本大震災での友だち作戦は、迅速な救援活動で大きな貢献をした。

追悼式典では、天皇陛下よりこの災害支援に対し深い感謝のお言葉があった。この度の請願はこれら全ての否定にも繋がりがねない。近隣町村と国との関係性もそれぞれ異なる事を踏まえ、独立した議会としては、慎重な態度が必要と考え採択に反対する。

結果 「不採択」

採択 4人
不採択 8人
欠席 1人